

第9回 自死遺族サポーター研修会

自死遺族支援・自助活動の多様なあり方と

ゆるやかな連携を探り合う研修会

自死に対する世間の偏見的な眼差しは容易に止まない。そのため、自死遺族たちは、大切な人との喪失による悲しみ、苦しみ等を率直に語ることは難しい。その状況は遺族たちを孤立に追い込み、さらには心身の不調へ深く追い込むこともあり得えます。

遺された遺族側が、そのような困難な渦中から感じ取ってきた自殺・自死に関するさまざまな実態や課題から、自死遺族支援者や自殺対策の関係者たちが共にゆるやかな連携のあり方について学び、探し合う研修会をめざします。

【開催要項】

- 日 時 2019年9月29日(日)13時～17時
- 会 場 東京・四谷主婦会館「プラザエフ」 ※別途地図をご参照ください
- 参加対象者 ・自死遺族の身近な方々(家族や親族、友人、知人、同僚など)
・支援者(医療、行政、警察、教育、福祉、保健、心理、遺族分かち合いの会、電話相談等の関係者) ・宗教者や葬儀関係者 ・その他、自死遺族に接する機会のある方々など
- 定 員 50名
- 参加費 1,000円
- 申 込 み 2019年9月10日ころまで(定員になり次第締め切ります)
- 申込み先郵送、ファックス、メールにて、以下にお申し込みください。

〒107-0052東京都港区赤坂9-2-6-103

「自死遺族ケア団体全国ネット」 Fax:03-5775-3871

メール: info@jishicare.org

主催 自死遺族ケア団体全国ネット

後援 厚生労働省 一般社団法人日本いのちの電話連盟
NPO法人グリーンケア・サポートプラザ
NPO法人生と死を考える会

第9回 サポーター研修会 カリキュラム

【基調提言】

13:10～14:10

○人はなぜ、自ら命を絶つのか。そして遺された遺族たちへの望まれる心のケアのあり方

講師：精神科医 東京医科大学名誉教授
いいもりこころの診療所院長 飯森眞喜雄氏

※人は何故自ら命を絶つのかについて、精神医学側が診る要因や課題。さらには遺族側に生じる悲嘆感情や自責の念への関わり方、またさまざまな社会的資源との望まれる連携のあり方等について提言していただきます。

【パネルディスカッション】

14:20～16:20

(テーマ)

遺された遺族側から提起される、
自死遺族支援・自助活動と自殺対策とのゆるやかな連携のあり方

※日頃より自死遺族支援・自助活動に関わっている3人のパネラーより、体験を通じての現場感覚から、具体的に役立つと思われる提案をいろいろな分野から検討し合う予定。

【パネリスト】

- | | |
|------------------------|---------|
| ○(社)カナリアハート 代表理事 | 山田 優美子氏 |
| ○NPO グリーケア・サポートプラザ副理事長 | 吉久 小夜子氏 |
| ○岐阜県「千の風の会」代表 | 木下 宏明氏 |

【コーディネーター】

- 自死遺族ケア団体全国ネット代表 藤井 忠幸氏

【まとめに際してのコメント】

16:30～17:00

ていねいな自死遺族支援・自助活動は、
「いのち」を大切にする社会環境への道筋につながる

講師：自死遺族ケア団体全国ネット」代表 藤井 忠幸氏

※ なお、テーマや講師、時間等は都合により変更することもあります。

自死遺族ケア団体全国ネット

第9回自死遺族サポーター研修会 申込み書

※ 申し込みはメールまたは郵送、ファックスにてお送りください。

※ 受付の連絡を必ずいたします。もし連絡がない場合はお手数ですがご一報ください。

○申込み日 月 日

○氏 名

○住 所（連絡先が所属団体の場合、その名称もご記入ください）

〒

○連絡先 ※連絡する際に一番都合の良い方法に◎、都合の良い方法に○をつけて、番号をご記入ください。

電話

Fax

Eメール

郵送（差出人名 : 控える 明示してよい）

【参加動機】 該当個所に○印をお願いいたします（回答なしでもかまいません）。

1. 周囲に居られる自死遺族の力になりたい（ ）
2. 現在支援スタッフとして活動中または勉強中（ ）
3. 自死遺族の方々に仕事上関わることもある（ ）
4. 自死遺族支援に関わる業務（ ）
5. その他（ ）

【現在悩んでいること、わからないことがございましたら、ご記入ください。また、本研修会や「全国ネット」への要望もどうぞ】